

# 大分県長期漁海況予報

〔令和 4(2022)年 1～6 月までの海水温・漁模様の見通し〕



大分県農林水産研究指導センター水産研究部  
879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦 194-6

Phone0972-32-2155 Fax.0972-32-2156 <http://www.pref.oita.jp/soshiki/15090/>

## 海況経過<2021年 8～12月>

### ■黒潮

A型流路の大蛇行が持続しました。

都井岬沖では、期間を通して概ね接岸傾向で推移しました。足摺岬沖では、7月上旬～9月中旬に「接岸」～「やや離岸」で、9月下旬～10月中旬に「接岸」で推移した後、11月上旬以降は「かなり離岸」～「著しく離岸」で推移しました。

### ■水温

豊後水道の水温(0～75m層)は、8月は「平年並」、9月は「やや低め」、10月は「高め」、11～12月は「平年並」で推移しました(図1)。

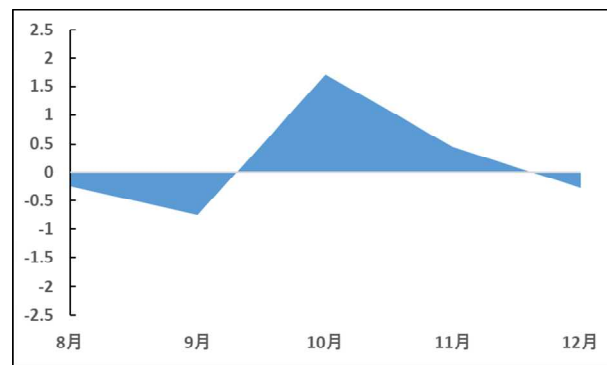


図1 豊後水道における水温の平年値との差(0～75m層の平均値)

### ■塩分

豊後水道の塩分(0～75m層)は、8～9月は「やや低め」、10月は「平年並」、11～12月は「やや低め」で推移しました。

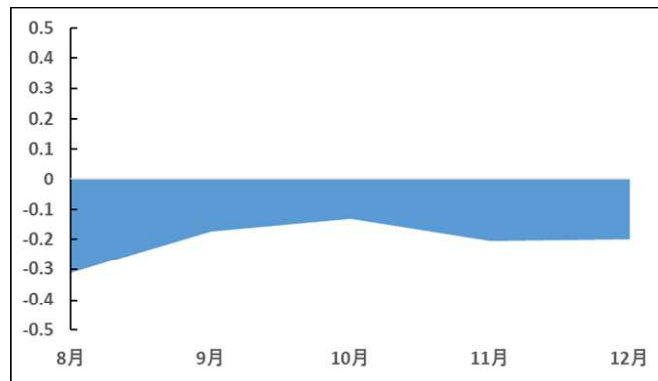


図2 豊後水道における塩分の平年値との差(0～75m層の平均値)

## ■海域別水温

豊後水道の水温(0m、10m、20m、30m、50m、75m)は、8月には北部・中部で「平年並」、南部で「平年並～やや低め」。9月には北部で「やや低め」、中部で「平年並～やや低め」、南部で「やや低め」。10月には北部で「高め」、中部で「極めて高め」、南部で「高め～極めて高め」。11月には北部・中部・南部で「平年並～やや高め」。12月には北部・中部・南部で「平年並」。

海域	水深	8月	9月	10月	11月	12月
豊後水道 北部 (大分)	観測日	16～18	13～15	11～13	15～17	13～15
	0m	-	--	++	+-	+-
	10m	+-	-	++	+-	+-
	20m	+-	-	++	+	+-
	30m	+-	-	++	+	+-
	50m	+	-	++	+	+-
	75m	+-	-+	++	+	+-
豊後水道 中部 (大分)	観測日	16～18	13～15	11～13	15～17	13～15
	0m	-	--	+++	+-	-+
	10m	--	--	+++	+-	-+
	20m	--	-	+++	+-	-+
	30m	+-	-	+++	+	-+
	50m	+-	--	++	+	-+
	75m	+-	+-	-+	+	-+
豊後水道 南部 (大分)	観測日	16～18	13～15	11～13	15～17	13～15
	0m	--	-	+++	+-	-
	10m	-	--	+++	+-	-+
	20m	--	-	+++	+-	-+
	30m	--	-	++	+-	-+
	50m	--	--	+-	+	-+
	75m	--	-+	-+	+	+-

## ■海域別塩分

豊後水道の塩分(10m、20m、30m、50m及び75m層)は、8月には北部で「低め～極めて低め」、中部で「やや低め」、南部で「平年並～やや低め」。9月には北部で「やや低め」、中部で「平年並～やや低め」、南部で「平年並み」。10月には北部で「低め」、中部で「平年並～やや低め」、南部で「平年並～やや高め」。11月には北部で「低め」、中部で「やや低め～低め」、南部で「平年並」。12月には北部で「やや低め～低め」、中部・南部で「低め」。

海域	水深	8月	9月	10月	11月	12月
豊後水道 北部 (大分)	観測日	16～18	13～15	11～13	15～17	13～15
	0m	---	-	---	-	-
	10m	---	-	--	--	--
	20m	---	-	--	--	--
	30m	---	-	--	--	--
	50m	--	-	--	--	--
	75m	-	--	--	--	-
豊後水道 中部 (大分)	観測日	16～18	13～15	11～13	15～17	13～15
	0m	-	-+	-+	-	-
	10m	-	-+	-+	-	--
	20m	-	-+	-+	--	--
	30m	-	-	-	--	--
	50m	-	-	-	--	--
	75m	-+	-	-+	-	--
豊後水道 南部 (大分)	観測日	16～18	13～15	11～13	15～17	13～15
	0m	-+	-+	+	-+	-
	10m	-+	+-	+-	-+	--
	20m	-	+-	+-	-+	--
	30m	-	-+	+	-+	--
	50m	-+	-+	+	-+	-
	75m	-+	-+	-+	-+	---

## 今後の海況の見通し<2022年1~6月>

### ■黒潮

都井岬～足摺岬沖では、概ね離岸傾向で推移するものの、一時的に接岸することがあるでしょう。

### ■沿岸水温

「低め」～「平年並」で推移するでしょう。

### ■予測の説明と根拠

・黒潮流路予測は令和3年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報(国立研究開発法人 水産研究・教育機構水産資源研究所及び関係都道府県:2021)を参考にしました。

・沿岸水温は気温の影響を強く受けると考えられます。福岡管区气象台から令和2年11月25日に発表された「九州北部地方3ヶ月予報」では、以下のように予測していることから沿岸水温は高めで推移すると考えられます。

- 12月「低め 30 %、平年並 40 %、高め 30 %」
- 1月「低め 40 %、平年並 40 %、高め 20 %」
- 2月「低め 30 %、平年並 40 %、高め 30 %」

### ■黒潮現況

海上保安庁発行の海洋速報によると、現在黒潮は都井岬でかなり離岸、足摺岬でかなり離岸している模様です。(2021年12月24日発行第237号)

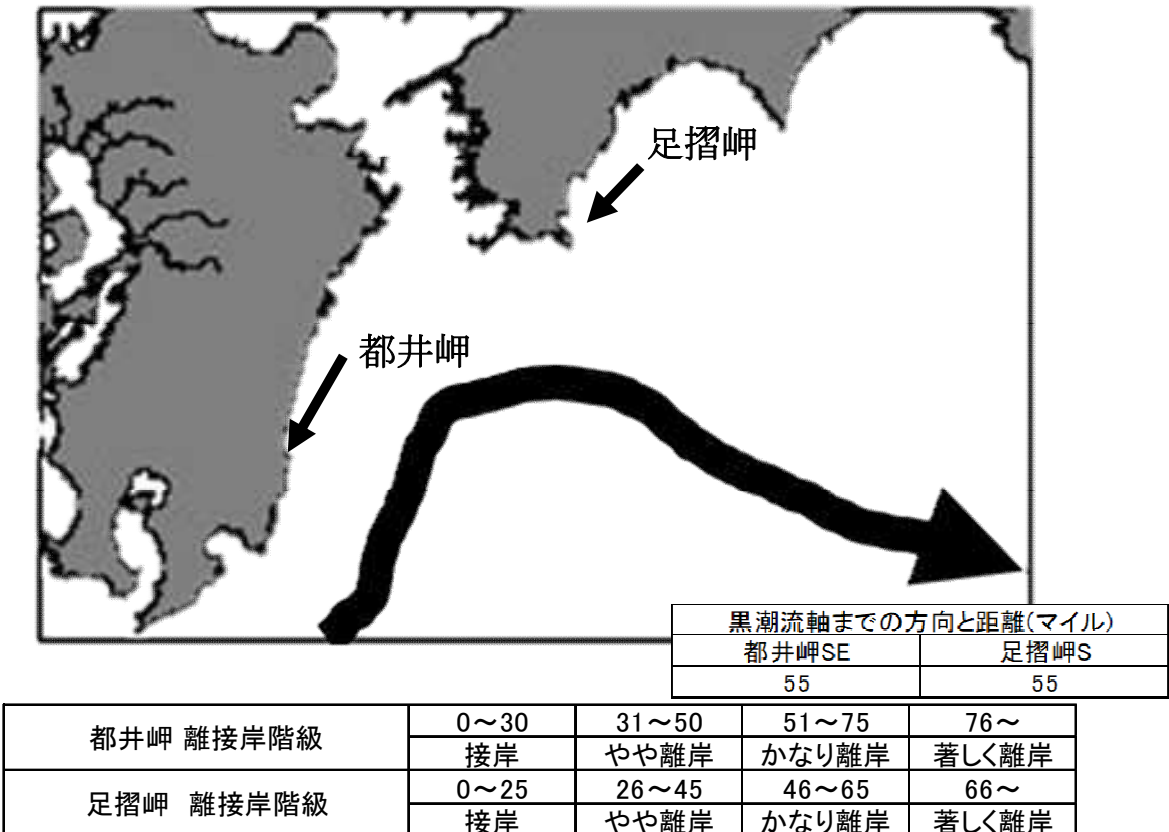


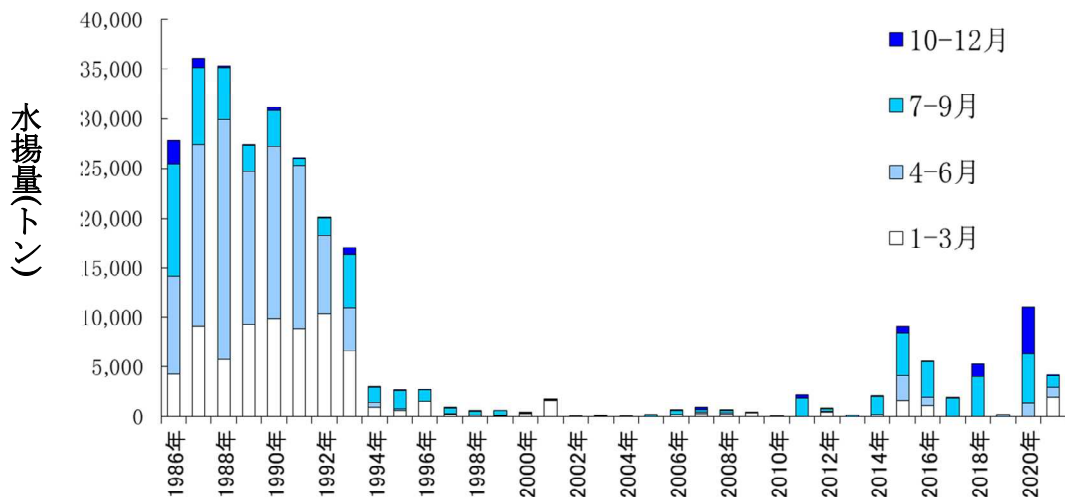
図3 海上保安庁観測による直近の黒潮流路

## ■マイワシ

### □2021年7月～11月の漁況経過

2021年7～11月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマイワシの水揚量は1,256トンで、前年比15.7%、1986～2020年の平均値(以下「平年」という)の比56.7%と前年・平年を下回りました。水揚の主体は、7～9月は被鱗体長<sup>(用語解説①)</sup>8.0cm～15.0cm前後の0歳魚(2021年級群)でしたが、10月は15.0cm～19.0cm前後の1歳魚(2020年級群)でした。

なお、近隣海域<sup>(用語解説②)</sup>では宮崎県は前年の25%、愛媛県は前年の2%、高知県では前年の6%の水揚量となっています(2021年7～11月の水揚量合計値)。



※2021年は11月まで

図4 まき網によるマイワシの水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2022年1～6月>



### 来遊水準:

豊後水道南部への来遊量は、前年を下回るでしょう。(2021年1～6月:1,342トン)

### 水揚対象年齢及び体長:

1～3月は被鱗体長15～20cm前後の1～2歳魚(2020～2021年級群)が主体となり、4～6月は被鱗体長7～12cm前後の0歳魚(2022年級群)主体となるでしょう。

### 【説明】

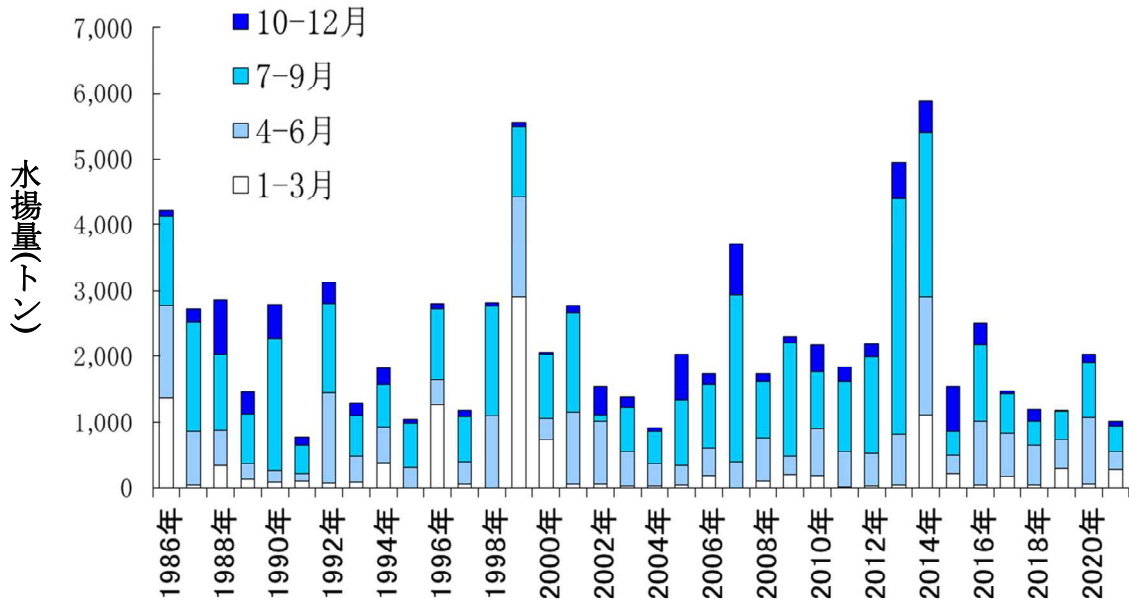
2021年の漁獲量は過去10年平均(2011～2020年:866トン)と比較して極端に多かったため、2022年1～6月の来遊水準は前年を下回ると予測しました。

## ■カタクチイワシ(成魚)

### □2021年7月～11月の漁況経過

2021年7～11月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるカタクチイワシの水揚量は463トンで、前年比48.4%、平年比34.6%と前年、平年を下回りました。水揚の主体は、被鱗体長5.0～9.0cm前後の0歳魚(2021年級群)でしたが、8月は10.0～12.0cm前後の1歳魚(2020年級群)もみられました。

なお、宮崎県では前年の173%、愛媛県では前年の100%、高知県では前年の206%の水揚量となっています(2021年7～11月の水揚量合計値)。



※2021年は11月まで

図5 まき網によるカタクチイワシの水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2022年1～6月>



### 来遊水準:

豊後水道南部への来遊量は、前年並でしょう。(2021年1～6月:281トン)

### 水揚対象年齢及び体長:

1～6月は0～1歳魚(2021～2022年級群)が水揚の主体となるでしょう。

### 【説明】

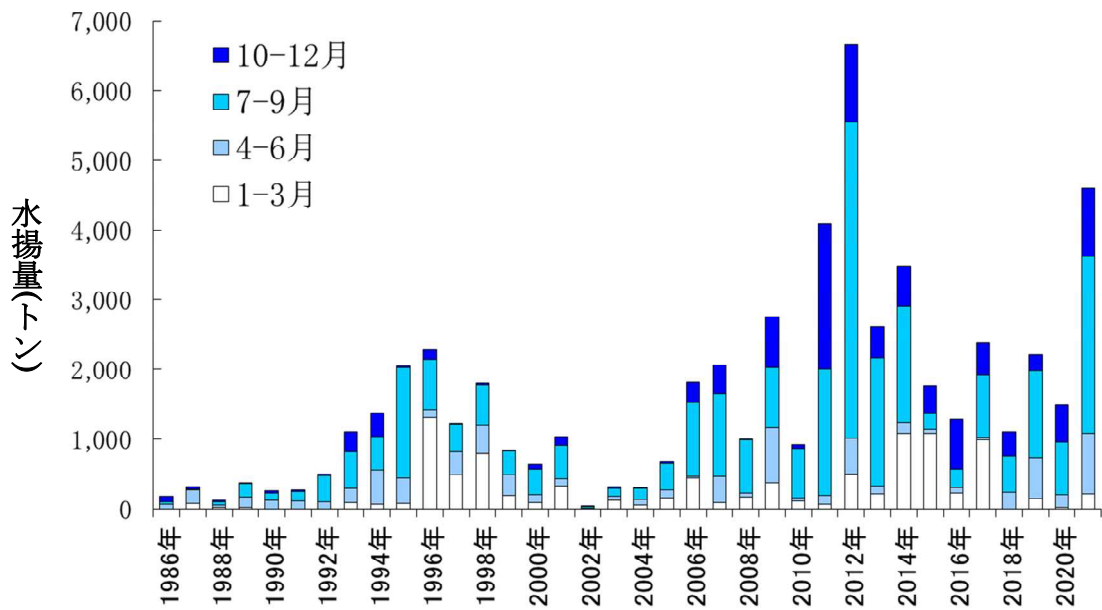
2021年1～6月の漁は平年比29.7%と不漁でした。4月以降に水揚される0歳魚(2022年生まれ)の来遊水準について現段階では不明ですが、カタクチイワシ太平洋系群の資源状態は近年低調であることから、2022年1～6月の漁獲量は2021年に引き続き低調に推移すると予測しました。

## ■ウルメイワシ

### □2021年7月～11月の漁況経過

2021年7～11月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるウルメイワシの水揚量は3,519トンで、前年比296.8%、平年比381.6%と、前年、平年を上回る漁となりました。水揚の主体は、7～8月は被鱗体長7.0cm～12.0cm前後の0歳魚(2021年級群)であり、9～10月はこれに加えて14.0～19.0cm前後の1歳魚(2020～2021年級群)もみられました。

なお、宮崎県では前年の231%、愛媛県では前年の130%、高知県では前年の111%の水揚量となっています(2021年7～11月の水揚量合計値)。



※2021年は11月まで

図6 まき網によるウルメイワシの水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

### 今後の見通し<2022年1～6月>

#### 来遊水準:

豊後水道南部への来遊量は、前年並～上回るでしょう。(2021年1～6月:1,082トン)



#### 水揚対象年齢及び体長:

1～3月は被鱗体長15～20cm前後の1歳魚(2021年級群)が主体となり、4～6月は被鱗体長10cm前後の0歳魚(2022年級群)が水揚の主体となるでしょう。

#### 【説明】

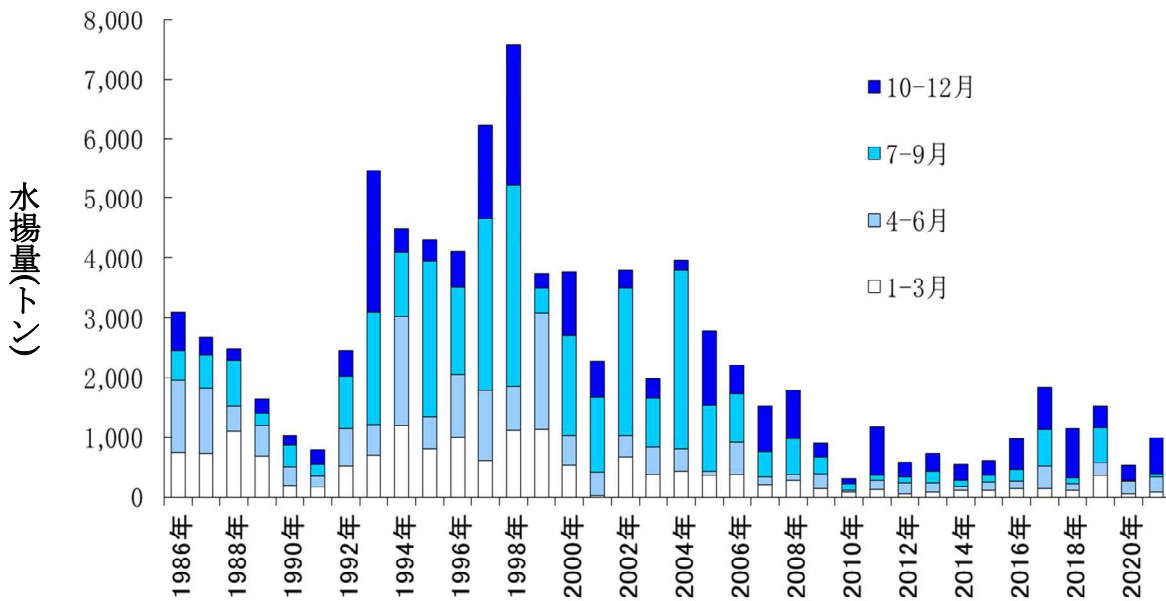
2021年7～11月は0歳魚が多く漁獲されていました。2022年はこれらの個体が1歳魚となり2021年と同等あるいはやや多くウルメイワシが漁獲される可能性があります。

## ■マアジ

### □2021年7月～11月の漁況経過

2021年7～11月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマアジの水揚量は639トンで、前年比336.3%、平年比45.1%と前年を上回り平年を下回る漁でした。水揚の主体は、7～8月は尾叉長<sup>(用語解説③)</sup>11.0～15.0cm前後の0歳魚(2021年級群)でした。9月は尾叉長7.0cm及び13cm前後の0歳魚(2021年級群)を主体に尾叉長15.0～20.0cm前後の1歳魚(2020年級群)や尾叉長25.0cm前後の2歳魚(2019年級群)もみられました。10～11月は尾叉長13.0～15.0cm前後の0歳魚(2021年級群)と尾叉長17.0～21.0cmの1歳魚(2020年級群)が主体となり、11月に漁獲が急増しました。

なお、宮崎県では前年の19%、愛媛県では前年の146%、高知県では前年の271%の水揚量となっています(2021年7～11月の水揚量合計値)。



※2021年は11月まで

図8 まき網によるマアジの水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2022年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道南部への来遊量は前年並でしょう。(2021年1～6月:338トン)



### 水揚対象年齢及び体長:

尾叉長14.0cm前後の1歳魚が主体となり、20cm以上の個体が混じるでしょう。

### 【説明】

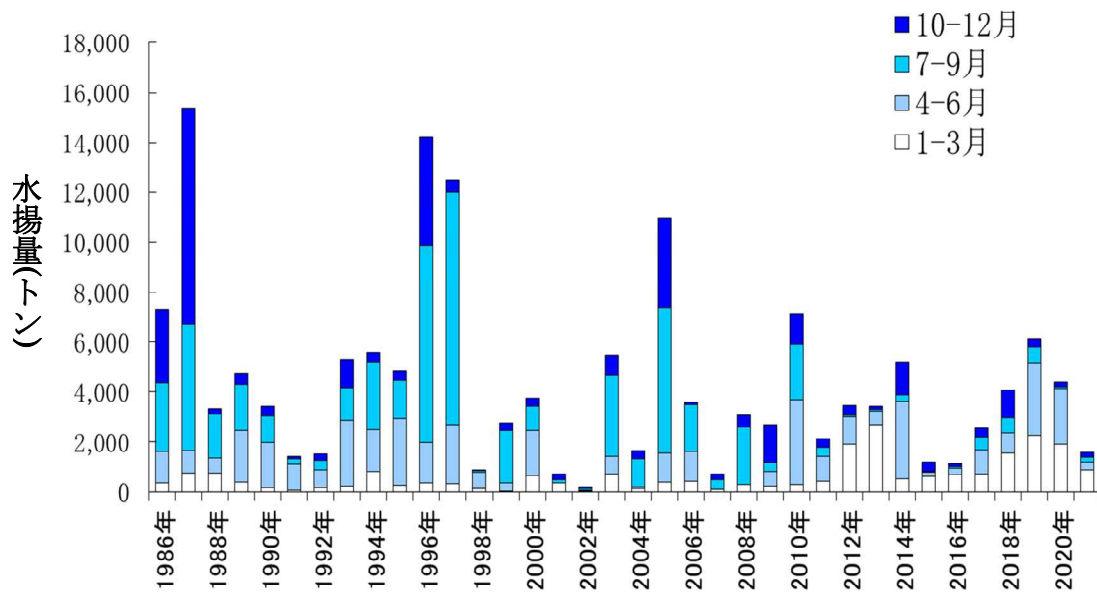
例年、1～6月は1歳魚が主体となります。0～1歳魚が水揚の主体であった7～10月の水揚量は138トンと前年並でした。11月以降に漁獲が急増した1歳魚は、年明けも漁獲対象となる可能性があります。一方でマアジ太平洋系群の加入量は低調な状況が継続していることを考慮し、予測は低調であった前年並としました。

## ■サバ類

### □2021年7月～11月の漁況経過

2021年7～11月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるサバ類の水揚量は385トンで、前年比165.9%、平年比15.3%と前年を上回り平年を下回る漁でした。期間中はマサバの割合が大きかったです。水揚の主体は、8～9月は尾叉長16.0～20.0cm前後の0歳魚(2021年級群)が主体でしたが、9月は27.0cm前後の1歳魚(2020年級群)もみられました。10月～11月は20.0～25cm前後の0歳魚主体に26.0～29.0cmの1歳魚(2020年級群)もみられました。

なお、宮崎県では前年の30%、愛媛県では前年の17%、高知県では前年の28%の水揚量となっています(2021年7～11月の水揚量合計値)。



※2021年は11月まで

図9 まき網によるサバ類(マサバ・ゴマサバ)の水揚量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2022年1～6月>



### 来遊水準:

豊後水道南部への来遊量は、前年並～上回るでしょう。(2021年1～6月:1,201トン)

### 水揚対象年齢及び体長:

2016年まではゴマサバが主体でしたが、2017年以降、1～3月は尾叉長30～35cm前後のマサバ3歳魚以上が主体となっています。4月以降はゴマサバも漁獲対象となります。

### 【説明】

予測期間中は、30cm以上のマサバ3歳魚(2018年級群)以上が水揚の主体となり、4月以降はゴマサバも対象となります。7～11月は、ゴマサバはほとんど漁獲されておらず、予測期間中も期待が持てません。一方で、太平洋側のマサバ資源の状態は良好と考えられており来遊に期待が持てます。予測期間中のマサバの来遊は黒潮の離接岸など海況条件に左右される可能性もありますが、予測は前年並～上回るとしました。



## その他

### ■予測の根拠および参考資料

・令和3年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(国立研究開発法人 水産研究・教育機構水産資源研究所及び関係都道府県:2021)

URL: <http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2021/20211224/20211224press.pdf>

### ■用語解説

- ①被鱗体長 :体の前端から、尾柄の鱗で覆われている部分の後端までの直線距離。
- ②近隣海域 :ここでは、3県(宮崎県・愛媛県・高知県)の海域をさす。
- ③尾叉長 :体の前端から、尾びれの湾入部内縁中央(くびれている部分)までの直線距離。

### ■問い合わせ先

この予報に関する問い合わせ先は、大分県農林水産研究指導センター水産研究部 資源増殖チームまで。

〒879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6

電話:0972-32-2155

FAX:0972-32-2156